

すばる望遠鏡の望遠鏡時間 議論

C. VLT の装置交換、ALMA 時代には考えた方がよいと思う。

C. 去年、公式ルートで VLT に問い合わせた。

相手も興味は示しているので、どのくらいの規模か更に問い合わせしてから反応がない。

(規模は Keck/Gemini に対するものと同じを想定)

コミュニティから要望があるならば交渉を続ける

C. 意見が出ないが、ユーザーとしては今の仕組みにそこそこ満足しているということか？

C. Intensive の夜数拡大という話があるが反対意見はないのか？

C. Intensive と SSP の区別は何か？

反対意見はないが、両者の区別は明確にしておかないと後で困るのでは？

Q. SSP と intensive の違い、TAC/SAC の見解はどうか？

A. SSP の定義から明らかであろう。

SSP は新しい装置で日本コミュニティー単位というイメージに対して、intensive はユーザー単位のイメージ。

C. Intensive について

中小口径の役割として時間のかかるものを担ってきた。

すばるで intensive を行うのは新たな可能性があって良いが、アイデアの数を確保するスロットとしてノーマル観測への影響は少ない方がよい。

C. 午前のプレゼンからも一般観測をなくすということはないだろう。

あとは程度問題か。

C. SAC として知りたいのは SSP の夜数(現在 60 夜上限)増やしてよ

いのか、増やすならどこまで増やしてよいのかということ
一般枠の倍率がどの位に保たれるべきとかあるか？

Q. 夜数の配分はどうなっているのか。

プログラム当たりの夜数 - 採択数を調べて、これからのト
レンドや発展途上具合等がわかる？

このようなことを調べたりはしていないのか？

A. やっていないと思う。

Q. 逆に、岡山はどうか？

A. 実はしていないが、是非やってみたいと思っている。

すばるは一日の観測で結果が出ることも多いが、岡山は数夜/
プログラムなので、余り傾向は見られないかも

C. HSC はコミュニティを取り入れて多種多様なサイエンスをしたい。

HSC の SSP が始まると imaging survey をしている人が open
use に提案しなくなるのではないか？

(ある意味 open use の時間が吸い上げられる？)

似た様な提案が提出されたら、サイエンスが強くないと落と
す、或いは SSP が走っている間は priority を下げる、などを
すればバランスが取れる？

SSP メンバー出ない人には SSP の枠組みで吸収できそうなら
紹介などはどうか？

C. そうなると call for で明示し、仕組みに変える必要がある
のではないか？

そうなるとかなりの影響がでてくるのでは？

C. 今のような仕組みは既に出来上がっているかもしれない。

レフェリーが SSP を反映して点をつけて良いことになっている。

SSP メンバーでなくても点に反映され、採択されないプログ
ラムもある。

今の共同利用の倍率は高すぎるので、これ以上倍率が上がる
のには反対。

Intensive プログラムが他の normal プログラム複数分の価値

があるように見えない。

SSP も練られているとは思わない

Normal で落ちたプログラムの方がよいという印象がある。

- C. SSP をどうするかは常に考えてフィードバックをかけていく
ものなので、ある時に決まったことが固定されるものではない。
なので、常に活発に意見をすることが重要。

C. 大学院生、どうか？

Q. intensive 1 件で 20 夜、つまり normal(2,3 夜) ×

6,7 件分の価値のあるプログラムがないというのは本当なのか？

- A. これまでの経験では、個人的には価値があるように思えない。
レフェリーは評価の時に normal と相対評価をしていないのか？

C. 個人の体験からだが、評価時に夜数のコストパフォーマンス
という視点はなかった。

だいたいレフェリーはサイエンスを見て評価し、コストパ
フォーマンスは見えていないのでは？

どちらにしても、一つのベクトルしかないと偏るので注意が
必要だ。

ある程度 TAC に委ねるのがよいと思う。

C. 審査プロセスの話に移りましょう。

例えば駆り採択後にチーム再編成とかありましたが？

C. 山田さんにコメントしたい。

審査プロセスについて、SAC をしていて FMOS の SSP 審査で感じ
たのは、SSP はすばるのロードマップを見据えたものの筈だ
が、FMOS 審査では結局観測所や SAC が余り主導権を握ってい
なかった。

見識者とレフェリーに丸投げだった印象で、レフェリーは外
国の方だった。

外国の方が日本のサーベイを審査するにはおかしいのでは？
観測所や SAC がもう少しビジョンを持つべきだと思う。

もっとリーダーシップを。

C. All Japan を考えると、国内で審査できる人がいない(大体メンバーに入ってしまう)。

なので外国の方に頼ってしまうことになる。

C. FMOS の時には SAC でさえ半数以上審査できない状況だった。

メンバーは、案の決議に参加できない。

これは改善しないとイケないのでは。

C. 高田さんの意見に賛成。

19 人のレフェリーで、外国の方ばかりというのは、基本的に SSP をやらせないという意志を感じざるを得ない。

がちがちに手堅く、確実にできるようなサイエンスしか残らなくなり、SSP という価値が無くなるのではないか？

レフェリーは必要だが、すばるは日本コミュニティのものなので、コミュニティが主体的に判断し、レフェリーが反対してもコミュニティが戦略的によしと思えば Go サインを出せる体制が必要なのではないか。

そもそも SSP を相対評価で行うのは変ではないか。

絶対評価で見るとべきだと思う。

Q. そもそも 1 装置で 1 つのプログラムになった経緯は何か？

A. 夜数で決まっている。

年間最大 60 夜なのでプログラム 1 件が妥当ではないかという判断

Q. 複数年で見るともっと取れるのでは？

A. 新しい装置は皆使いたがるので、複数のプログラムを取るならば 1 プログラム当たりの夜数を減らして配分するなどしないと noraml プログラムを圧迫する。

(何がいいか分からないが)

SAC で一度シミュレーションをして、すばる UM で発表した。いまその時に上っていた問題が議論されている。

C. 現在 SSP は 1 装置 1 件、年間 60 夜を想定しているが intensive と SSP の間に夜数の格差が大きいのでは。

20 夜は intensive にはおさまらないので SSP に出さざるを得ない。

FMOS の場合、相乗りをしたのは、どのサイエンスを見ても 60 夜では収まらないからというのものもある。

C. Intensive が拡大して、融通がきけば解決できるのか

C. 何夜までは intensive、何夜からは SSP という区別はあるか？

C. 先ほどあったように主体がコミュニティかユーザかというものもある。

共同利用の夜数圧迫についての意見は？

サーベイ観測が増えるのは仕方がないのか？

C. コミュニティの要求に応じて柔軟に決めれば良いと思う。

共同利用が多いとそちらに投入、サーベイが多いのであればそちらに投入、というように。

どういう要求が多いのはその時々であり、一概に上限を決めるのは厳しい。

C. SSP にはすばるのビジョンがある。

TMT の事態時もすばるを存続させたい。

この辺はコミュニティ全体の意見を吸い上げたい。

C. SSP をどうするかについて議論するのが遅いのでは、という印象。

FMOS の SSP がもう始まるのに夜数の件とか話し合うのは遅いのではないか。

また、2 年後の HSC に向けてどう割り当てるかがまだ決まっていないうも遅いのではないか？

HSC のサイエンス目的はある程度決まっているのだから、今の段階で早めに具体的にしておくべきではないか。

C. 現在 SSP は SEEDS のみ。これから徐々に走っていく。

PFS の場合には、今の段階でコミュニティがこれぐらいの夜数が確保できると分かっている方が外国の人と協力しやすい
今、夜数を決めることはできるのか？

C. シンプルな問題ではなく、不定要素(スケジュールの遅れ、装置の性能)が入る。

最初 200 夜約束し、それが後に達成できないこともある。その場合どうするのか？

確実でない部分が多いのを認識してもらいたい。

FMOS に関するコメントについては、今回は仕方がないと思う。
最終的にマイナス要因は FMOS の感度の問題だった。目標値より感度が悪かったのは原因で SSP が弱くなった。

戸谷さんのスライドにあった秋山さんのコメントが的を得ていると思う。

C. 所定の性能が出ず、計画練り直しになることは分かる。

しかし、いま議論しているのは国際協力で約束すべきなところ、日本で一番トップのところであって、間に合わないから、ということで議論を遅らせるのは良くないのではないか？

C. そこがすばるの辛いところで、別の装置もあるし、色々な分野の多くのユーザーがいる。

競争率が高いし、融通がききにくいのも致し方ない。

C. PFS については、外国の方にもサーベイ観測は、SSP の枠組みで OK という条件で参加してもらっている。

複雑な SSP の状況を説明し、同意は得られている。

C. コミュニティがあるから大変なのはわかる。

しかし、SSP で決まった範囲内では、コミュニティとはある程度切り離されているのではないか。

SSP を認めた夜数のなかで、最大限に活用できるようにしないといけないのではないか？

C. SSP はまずサイエンスがあって、夜数を割り当てるもの。

夜数が決まっていて、その枠組みでサイエンスを行うものではない。

- C. 案件が多いと、相対評価で選びやすいが、SSP では基本的に1つのプログラムをを主観的に審査するのが難しい。
必ず5年で300夜を与える、という方が圧迫するのではないかと感じる。